



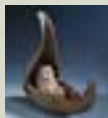
森の始まる場所II  
(阿部裕之)



思考転換の時  
(安藤泉)



夜ル竊二ノ吹墨扁壺IV  
(太田典典)



ガガイモの種に乗った来訪者  
(小俣喜昭)



りんごの種  
(小俣喜昭)



端  
(西大由)



平和な小国の住人  
(郷津晴彦)



反目する両鳥  
(小俣喜昭)

# 魅力の拡散 西大由

daily u



Nepenths EVE  
(関井一夫)



オマージュ  
勝利の女神ニケ  
(桜田知文)



立  
(佐藤勲)



Gate 2015-2  
(佐脇健一)

2023年 7/13(木) — 8/29(火)

〈開館時間〉10:00-18:00 〈休館日〉日曜日 〈観覧料〉無料

夏季休業日: 8月11日(金)~17日(木)



SPHERE  
(中尾祐子)



りんらんと  
(中井川みゆき)



隴銀花器「遊星群」  
(西大由)



流気  
(中山穰)



青銅花器「装口以孔」  
(西由三)



青銅花入れ  
(平川晋吾)



Hat  
< hot love cold world >  
(ひろし高橋)



釉彩色絵金銀彩裏りに  
小鳥達文扁壺  
(廣瀬義之)



風景  
(細井満智子)



PINOCCHIO 2023  
(丸山哲朗)



平文飾箱「緑映」  
(水上修)



1日の鳥  
(宮崎光二)



漆型染「歩く」  
(三田村泉美)



ピンブローチそれぞれ  
(横山久美子)



境界  
あうこと・はなれること  
(米山より子)



風と銀色オオカミ  
(三船温尚)



富久  
(西大由)



「Opening」シリーズ  
(南昌伸)

鑄金作家「西大由」は、無駄のない独自の美しさで、果実や鳥などの存在感を表現しました。青銅や隴銀(四分一)を用いた確実な技を駆使して制作を続けながら、東京藝術大学美術学部教授として教鞭も取りました。その生誕100年+没後10年にあたる2023年に、西の作品に光を当てつつ、若き時代に藝大で教えを受けたアーティストたちの広がりをご覧いただきたく思います。平成記念美術館 ギャラリー第80回企画展は、藝大名誉教授だった故・西大由の作品とともに、鑄金科を中心に関わりの深かった藝大卒業生と、西が担任として指導した1977年度藝大工芸科入学生の中から、有志の作品を展示します。



安部 定

阿部 裕之



安藤 泉

江川 夏樹



江藤 日出男

太田 公典



小田 恭子



小俣 喜昭



加藤(青田)圭子



(故)郷津 晴彦

西大由に教えを受けた大勢の中から

32名が作品を展示します。

今になってわかることがある。解らないままのものもある。

時は移り、確かに残るのは同じ処に生きていたあの時の記憶。

西大由によって刺激された感性は、

それぞれの中で、様々に育った。

西大由先生、ありがとう



小松 研治



桜田 知文



佐藤 勲



佐脇 健一



関井 一夫



中井川 みゆき



中尾 祐子



中山 穰



西 由三



平川 晋吾



ひろし 高橋



廣瀬 義之



細井 満智子



丸山 哲朗



水上 修



三田村 泉美



南昌 伸



三船 温尚



宮崎 光二



(故)森川 賢道



横山 久美子



米山 より子



西 大由

NISHI Daiyu

- 1923 5月25日福岡県筑上郡 生まれ
- 1941 東京美術学校工芸科鍍金部入学  
高村豊周、丸山不忘、内藤春治に師事
- 1943～1945 兵役
- 1947 練馬区石神井町に居を構える。第3回日展初入選「春之意香炉」
- 1948 東京美術学校工芸科鍍金部卒業 多治見製作所鍍金技師となる
- 1949～1950 東京都恩賜上野動物園 企画課 勤務
- 1950 東京藝術大学美術学部 副手  
(’53 助手 ’59 講師 ’69 助教授 ’78 教授 ’83～’87 学生部長兼任)
- 1950 薬師寺東塔水煙および月光菩薩台座修理
- 1955 第11回日展特選「青銅壺」(’56 無鑑査)
- 1961 第4回新日展で菊華賞受賞「泪羅に立つ」(’62 会員推挙、’89 退会)
- 1963 第6回高村光太郎賞受賞(工芸部門で初受賞)、石神井町にアトリエを併設
- 1964～1981 東大寺大仏の鑄造と補修に関する技術的研究
- 1971～1978 教科用図書検定調査審議会調査員
- 1979 日本新工芸連盟創設参加、評議員(’86 まで出品)
- 1986 日本丸、海王丸の船首像制作

- 1987 運輸省交通文化賞 受賞
- 1988～1990 文化財保護審議会専門委員
- 1990 埼玉県横瀬町にアトリエを建築
- 1991 東京藝術大学定年退官、同大学名誉教授
- 1991.4～1997.3 東亜大学副学長
- 2000 勲三等瑞宝章を受章
- 2013 6月20日急性心不全により死去 享年 90
- 2013 叙位 従四位



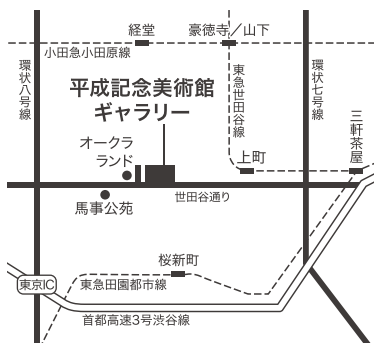
鑄銀花器「寂光」



朱銅壺

〒156-0053  
東京都世田谷区桜3-25-4  
開館時間 10:00～18:00  
観覧料無料  
(休館日)  
日曜日・年末年始・夏季休暇

【電車】  
東急世田谷線 上町駅より  
徒歩10分  
【バス】  
渋谷駅バス停 4番乗り場  
「成城学園前駅西口」行  
渋24(東急バス/小田急バス)  
「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】 03-3426-1103

ギャラリーサイトはこちら <https://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/>

【次回企画展のお知らせ】  
2023年 9月2日(土)～9月26日(火)  
山田朝彦 - 彫刻展 -

※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。

平成記念美術館 ギャラリー  
Instagram アカウント  
@heisei\_artgallery

